

# こども若者★いけんぷらす

生きづらさ、自殺したいという気持ちに  
なった人に必要な支援について

## 事前説明

令和5年9月22日

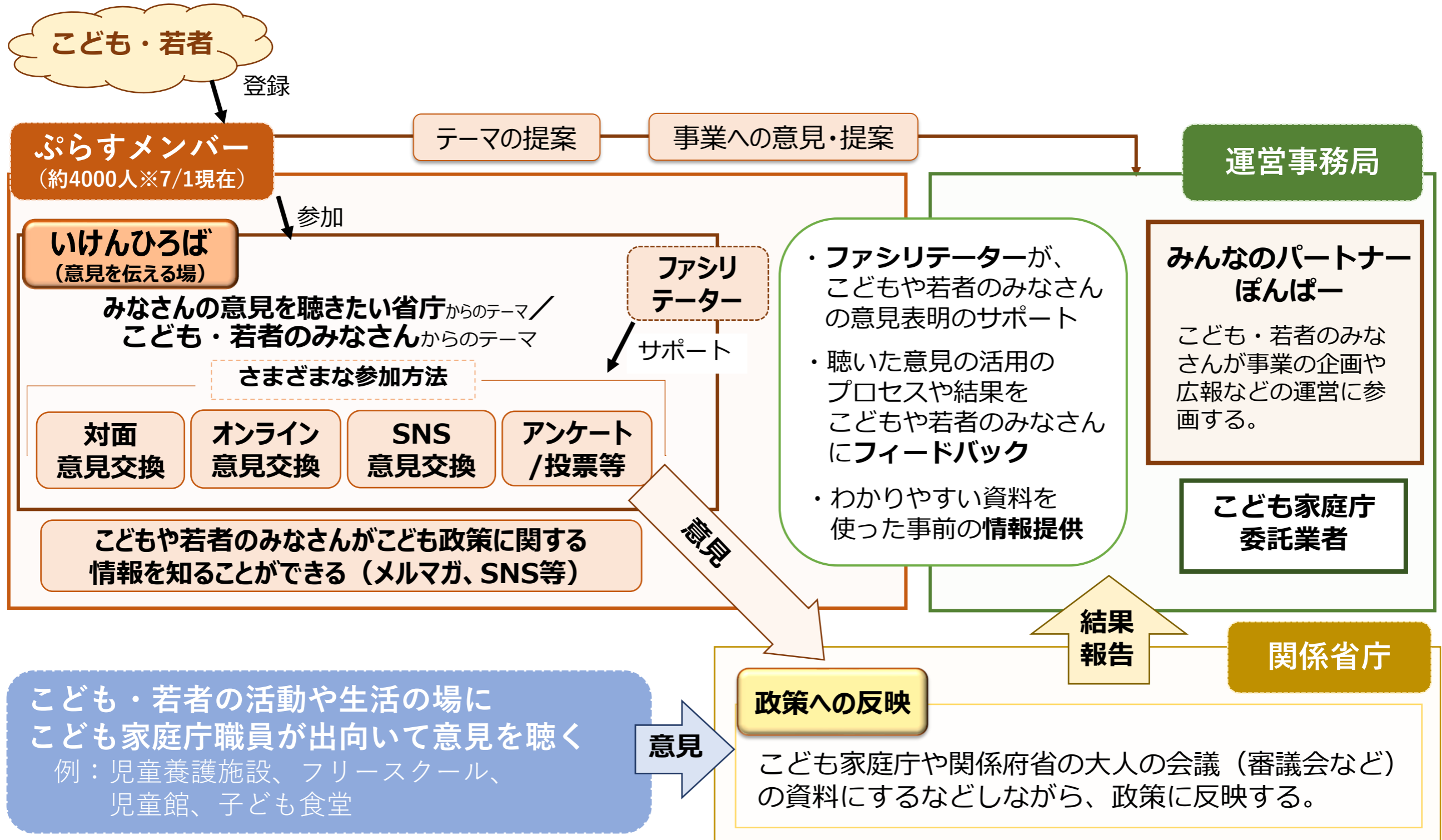
○いけんぷらす開催日時  
令和5年9月23日（対面開催）

# 今日お話しする内容

1. 「こども★若者いけんぷらす」とは？ 03
2. 今回のいけんひろばについて 04
3. 会場への行き方 05
4. 交通費・宿泊費の支払いについて 06
5. スケジュール 08
6. メンバー 09
7. 座席表 11
8. いけんひろばで大切にしたいこと 13
9. みなさんの意見について 14
10. みなさんへお願いしたいこと 15
11. テーマ説明 16

# 1. 「こども★若者いけんぷらす」とは？

みなさんがさまざまな方法で自分の意見を表明し、社会に参加することができる新しい取組です。



こども・若者の活動や生活の場に  
こども家庭庁職員が出向いて意見を聴く  
例：児童養護施設、フリースクール、  
児童館、子ども食堂

## 2. 今回のいけんひろばについて

### 1. テーマ

生きづらさ、自殺したいという気持ちになった人に必要な支援について

### 2. テーマのせつめい

こども家庭庁としては、令和4年の児童生徒の自殺者数が過去最多となった事実等を重く受け止め、こどもの自殺対策に関し、「こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議」を設置し、関係省庁の知見を結集し、総合的な施策の推進を目指しているところです。

この会議では、こどもの自殺対策に関する取組を行うNPO団体や研究者等からもヒアリングを行っていますが、こどもの自殺対策をより実効性のあるものとするためには、施策の当事者であるこども・若者の意見を聴くことが重要であると考えており、テーマを設定しました。

### 3. 日にち・時間

9月23日（土） 14:00～16:00 （集合時間：13:50 開場時間：13:40）

### 4. 場所

こども家庭庁

（東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング21階 こどもまんなか広場ほか）

# 3. 会場への行き方①

## マップ



## アクセス



「東京メトロ銀座線 虎ノ門駅」  
11番出口から徒歩約2分



「東京メトロ丸の内線・日比谷線・千代田線 霞が関駅」  
A13番出口から徒歩約6分



「東京メトロ有楽町線 桜田門駅」  
2番出口から徒歩約9分



「東京メトロ南北線 溜池山王駅」  
8番で口から徒歩約6分

# 3. 会場への行き方②

迷った場合や何か困ったことがある場合は、  
「080-3216-3964」または  
「080-3358-2781」  
に電話してください！

こどもまんなか  
こども家庭庁

## 敷地案内図

**【集合】**  
ロビーの  
20階から27階の  
エレベーター付近



エスカレーターは  
2つ乗ります。

旧文部省庁舎  
(文部科学省・文化庁)

東館  
(文部科学省  
・スポーツ庁)  
(会計検査院)

西館  
(金融庁)

中央広


東京倶楽部ビル

エスカレーターを  
上がって見える左側  
の建物です。



千代田線「霞ヶ関駅」  
日比谷線「霞ヶ関駅」  
丸ノ内線「霞ヶ関駅」  
A13番出口

銀座線  
「虎ノ門駅」  
11番出口



**【霞が関ビルディング最寄り駅】**  
銀座線「虎ノ門駅」11場出口より直ぐ  
千代田線「霞ヶ関駅」A13番徒歩5分  
日比谷線「霞ヶ関駅」A13番徒歩5分  
丸ノ内線「霞ヶ関駅」A13番徒歩5分

# 5. スケジュール

13:50

集合

- 集まる場所は、霞が関ビルディングのロビー階です(P. 6 を見てください)。
- 集合いただいた後、21階のこどもまんなか広場に移動します。
- 早く着いた方は13:40から会場へのご案内を始めます。

14:00

開会  
今日の流れの確認

- 当日集まったおとなの出席者の紹介をします。
- 全体で今日のいけんひろばの流れやルールについて確認します。

14:05

アイスブレイク

- 参加者でお互いに自己紹介などをします。
- 「呼ばれたい名前」と、①～③のどれかを聞かせてください！  
①地域で有名なもの、②自分の『推し』、③秋で好きなもの・楽しみなこと

14:15

グランドルールの  
相談

- 参加者全員で話し合いながら、グランドルールを確認します。

14:30

移動  
トイレ休憩

- 班に分かれて、意見を聴く部屋に移動します。
- 移動後、トイレ休憩を取ります。

14:35

グループワーク

- 班ごとに話し合いながら、みなさんから意見を聴きます。
- ファシリテーターが質問をしますので、伝えたいことを教えてください。

15:25

移動

- 担当者と一緒に、最初にいた部屋に戻ります。

15:30

チェックアウト  
ふり返り

- 班ごとに、今の気持ちや、今日のいけんひろばの感想を話します。

15:40

おしらせ  
アンケート

- 交通費などの手続きや、いけんひろば後の予定などをお知らせします。
- お配りするアンケートに答えてくれた方から解散となります。

15:45

個別相談










- 希望に応じて、「グループワーク」のときに言い残したこと、グループではなく一人で話したいこと、訂正したいこと等があれば、個別にお話を聞きます。

## 6. メンバー（運営）

No.	ニックネーム	補足	担当するへや
1		テーマについての国の担当者	
2		テーマについての国の担当者	
3		いけんひろば全体についての国の担当者	
4		いけんひろば全体についての国の担当者	
5		いけんひろば全体のサポートをする会社の人	
6		いけんひろば全体のサポートをする会社の人	21階 こどもまんなか広場
7		いけんひろば全体のサポートをする会社の人	21階 こどもまんなか広場
8		いけんひろば全体のサポートをする会社の人	22階 コミュニケーション エリア



# 6. メンバー（参加者）

	大人	子ども・若者 のみなさん	場所
1班 15歳～18歳 世代	 (ファシリテーター)	 (板書係)	 21階 こどもまんなか広場
2班 19歳～22歳 世代	 (ファシリテーター)	 (板書係)	 21階 こどもまんなか広場
3班 23歳～30歳 世代	 (ファシリテーター)	 (板書係)	 22階 コミュニケーションエリア

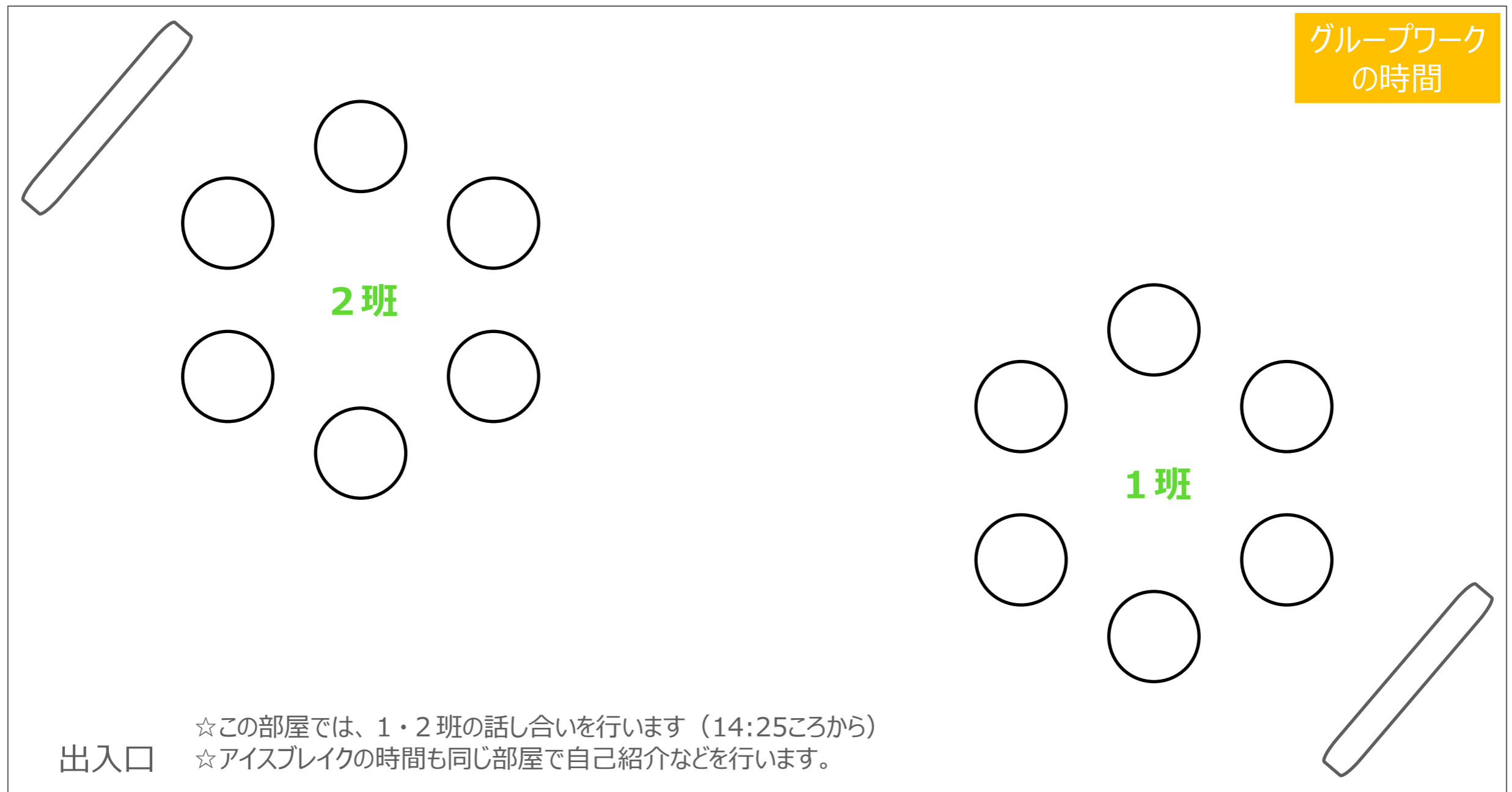
# 7. 座席表①

当日は、みなさんと相談しながら、みなさんが落ち着いてお話できる環境を一緒に作っていきます。下の表は、みなさんが座る場所の一例です。

こども家庭庁21階（こどもまんなか広場）

ホワイトボード

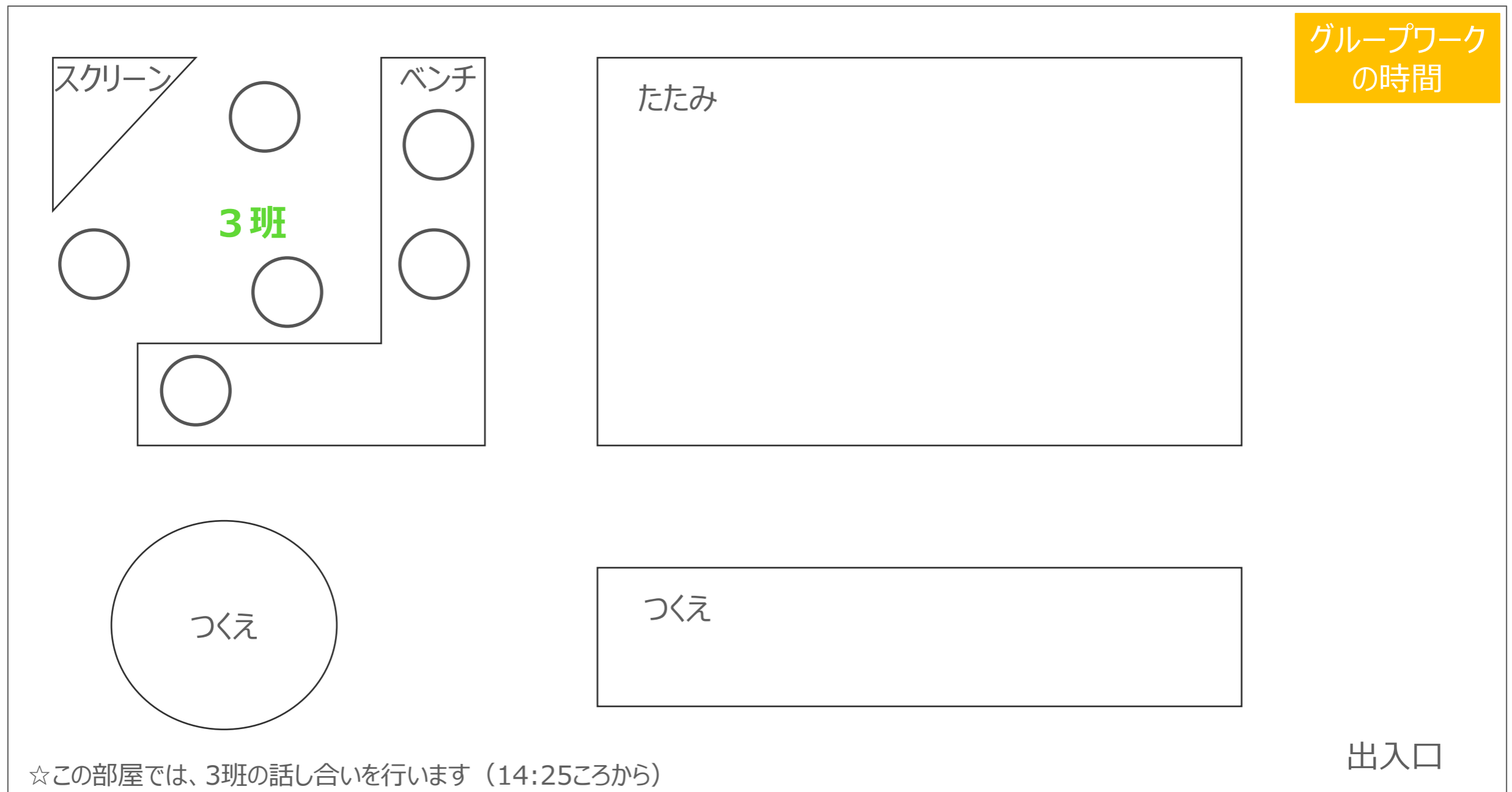
いす



## 7. 座席表②

当日は、みなさんと相談しながら、みなさんが落ち着いてお話できる環境を一緒に作っていきます。下の表は、みなさんが座る場所の一例になります。

こども家庭庁22階（コミュニケーションエリア）



## 8. いけんひろばで大切にしたいこと

一人ひとりが尊重され、安心・安全が感じられ、  
話したいことが自由に言える場にしたいと考えています。

- ◆ 考えがまとまっていなくても大丈夫です。  
感じたこと、ちょっと思いついたこと、いまの気持ちなど、  
どんなことでもご自由にお話ください。
- ◆ 話したくないときには、だまっていてOKです。  
話したくないこと、個人的なことは、話さなくて大丈夫です。
- ◆ いつでも、その場を離れたり、休憩することができます。  
自分が参加しやすいペースで参加してください。

ほかにも、だれもが安心してお話しできる場にするために、  
どんなことを大事にしていくか、みんなで一緒に考えたいと思います。

## 9. みなさんの意見について

- こども家庭庁の施策に活かすとともに、「いけんのまとめ」としてホームページなどに掲載します。
- その時には、だれが言った意見なのかがわからないようにします。
- ホームページなどに掲載する内容は、事前にみなさんに確認していただきます。

意見の取り消し、追加などは、[kodomo\\_iken@cfa.go.jp](mailto:kodomo_iken@cfa.go.jp) へメール

◆ いけんひろばの中で言ったこと（意見）は

9月29日（金）までであれば、取り消すことができます。

- 取り消したいときは、「○○○といけんひろばの時に言ったけど、取り消したい」といったメールを送ってください。

◆ いけんひろばの中では言えなかったけれど、どうしても伝えたいこと（意見）があれば、9月29日（金）までに送ってください。


◆ もし、いけんひろばのときに、いやだなと感じたことなどがあれば、教えてください。

## 10. みなさんへお願いしたいこと

- ◆ 自分の意見も相手の意見も、大切に受け止めましょう。
- ◆ ほかに人が話しているときには、最後まで聴きましょう。
- ◆ いけんひろばを通じて知ったほかの人の情報や、ほかの人が写っている写真、だれが何を話したかなどを、SNSに投稿したり、ほかの人（ともだち・先生・家族など）に言わないようにしましょう。

何か気になることがあったら、  
スタッフに教えてください

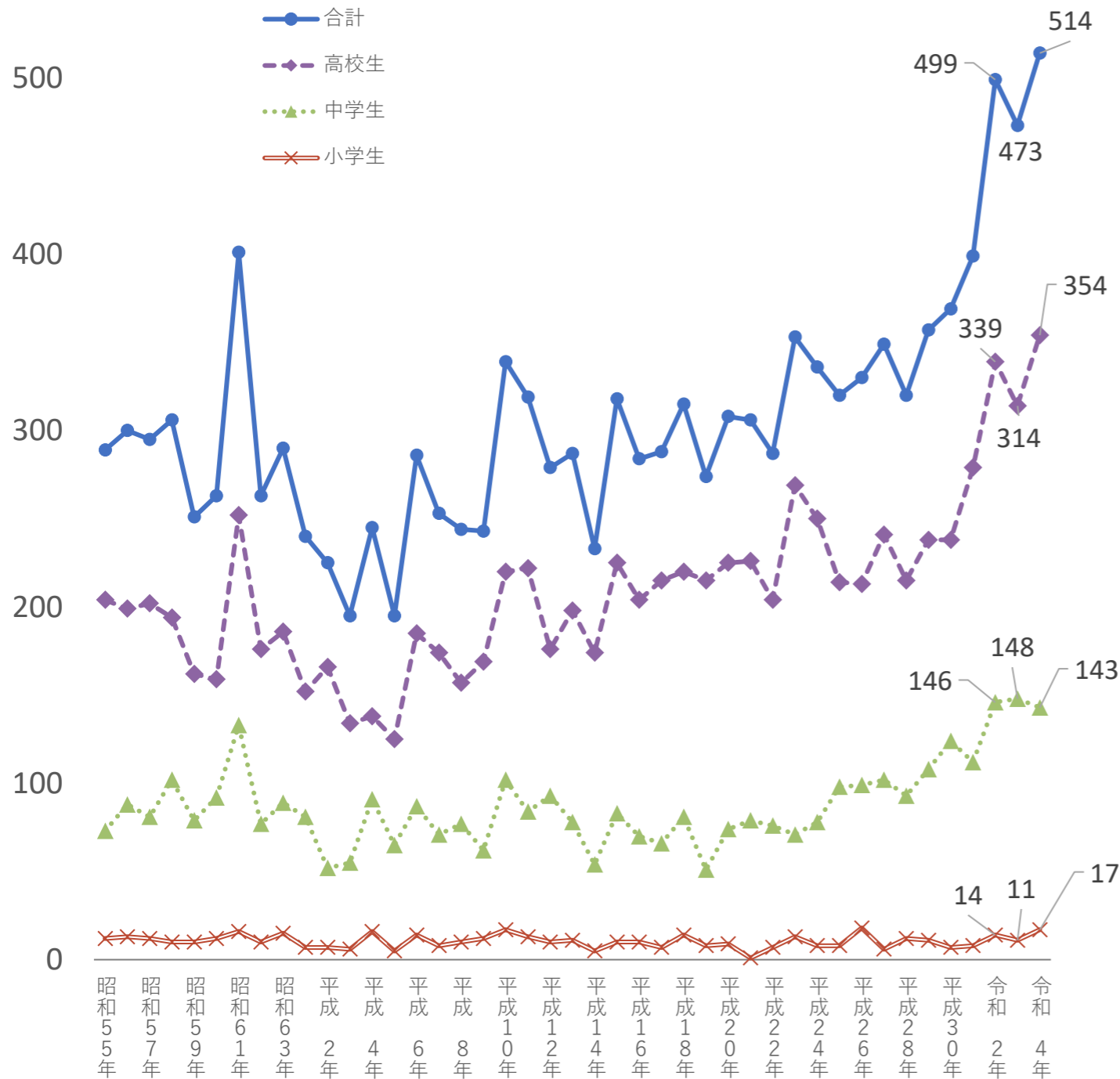
# 11. テーマ説明



こどもの自殺対策について

# 【令和4年確定値】小中高生の自殺者数年次推移

○小中高生の自殺者数は、近年増加傾向が続き、令和4年では、514人と令和2年の499人を超え**過去最多**となっている。



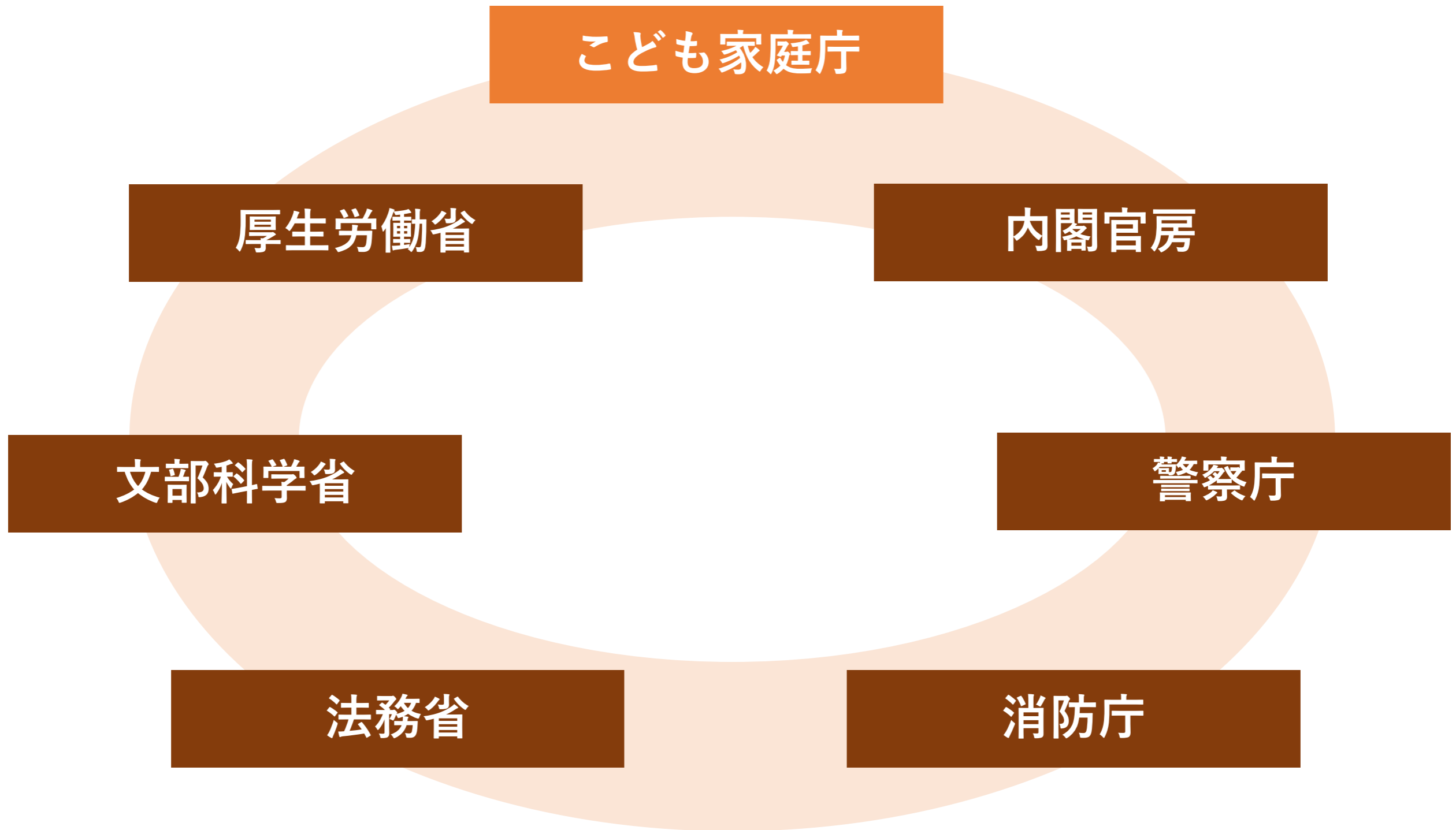
【令和3年、令和4年】  
小中高生の自殺者数年次比較

	令和3年 (確定値)	令和4年 (確定値)	対前年増減数 (R4 - R3)
合計	473人	514人	41
小学生	11人	17人	6
中学生	148人	143人	-5
高校生	314人	354人	40

資料: 警察庁自殺統計原票データより厚生労働省自殺対策推進室作成



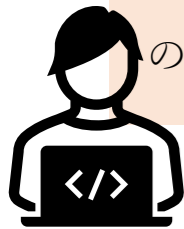
# こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議



# こどもの自殺対策緊急強化プランのポイント

## リスクの早期発見

1人1台端末の活用等により、自殺リスクの把握や適切な支援につなげるため、有償・無償で利用できるシステムやその活用方法、マニュアル等を整理・作成し、全国の教育委員会等に周知し、全国の学校での実施を目指すとともに、科学的根拠に基づいた対応や支援を可能とするための調査研究を実施し成果を普及する



## 的確な対応

多職種の専門家で構成される「若者の自殺危機対応チーム」を都道府県等に設置し、自殺未遂歴や自傷行為の経験等がある若者など市町村等では対応が困難な場合に、助言等を行うモデル事業の拡充を図るとともに、より効果的な取組となるよう、運営に関するガイドラインの策定も含め、実施自治体に対し、指定調査研究等法人が必要な支援を行う。その上で、「若者の自殺危機対応チーム」の全国への設置を目指す



## 要因分析

警察や消防、学校や教育委員会、地方自治体等が保有する自殺に関する統計及びその関連資料を集約し、多角的な分析を行うための調査研究を立ち上げ、EBPMの視点も踏まえ、こどもの自殺の実態解明に取り組むとともに、分析に当たっての課題把握に取り組む



こどもが自ら命を絶つようなことのない社会の実現

# こどもの自殺対策緊急強化プラン（概要）

令和5年6月2日  
こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議

- 近年、小中高生の自殺者数は増加しており、令和4年の小中高生の自殺者数は514人と過去最多となった。
- 関係省庁連絡会議を開催。有識者・当事者の方々からのヒアリングも踏まえ、こどもの自殺対策の強化に関する施策をとりまとめた。
- このとりまとめに基づき、自殺に関する情報の集約・分析、全国展開を目指した1人1台端末の活用による自殺リスクの把握や都道府県等の「若者自殺危機対応チーム」の設置の推進など、総合的な取組を進めていく。
- 今後、さらにそれぞれの事項についてより具体化を図った上で、こども大綱に盛り込めるよう検討を進める。

## こどもの自殺の要因分析

- ・ 警察や消防、学校や教育委員会、地方自治体等が保有する自殺統計及びその関連資料を集約し、多角的な分析を行うための調査研究の実施（自殺統計原票、救急搬送に関するデータ、CDRによる検証結果、学校の設置者等の協力を得て詳細調査の結果等も活用）
- ・ 学校等における児童生徒等の自殺又は自殺の疑いのある事案についての基本調査・詳細調査の実施。国における調査状況の把握・公表 等

## 自殺予防に資する教育や普及啓発等

- ・ すべての児童生徒が「SOSの出し方に関する教育」を年1回受けられるよう周知するとともに、こどものSOSをどのように受け止めるのかについて、教員や保護者が学ぶ機会を設定
- ・ 「心の健康」に関して、発達段階に応じて系統性をもって指導。「心の健康」に関する啓発資料の作成・周知 等

## 自殺リスクの早期発見

- ・ 1人1台端末の活用等による自殺リスクの把握のための、システムの活用方法を周知し、全国の学校での実施を目指す。科学的根拠に基づいた対応や支援のための調査研究
- ・ 自殺リスク含む支援が必要なこどもや家庭を早期に把握・支援するため、個人情報 の適正な取扱いを確保しながら、教育・保健・福祉などの情報・データを分野を超えた連携に取り組む
- ・ 公立小学校、中学校等でのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の配置促進 等

## 電話・SNS等を活用した相談体制の整備

- ・ 「孤独ダイヤル」（#9999）の試行事業の実施
- ・ LINEやウェブチャット・孤立相談等のSNSを活用した相談体制の強化 等

## 自殺予防のための対応


- ・ 多職種の専門家で構成される「若者の自殺危機対応チーム」を都道府県等に設置し、自殺未遂歴や自傷行為の経験等がある若者など市町村等では対応が困難な場合に、助言等を行うモデル事業の拡充。その上で、危機対応チームの全国展開を目指す
- ・ 不登校児童生徒への教育機会の確保のための関係機関の連携体制の整備や、不登校特例校の設置促進・充実 等

## 遺されたこどもへの支援

- ・ 地域における遺児等の支援活動の運営の支援 等

## こどもの自殺対策に関する関係省庁の連携及び体制強化等

- ・ こども家庭庁の自殺対策室の体制強化、関係省庁と連携した啓発活動
- ・ 「こども若者★いけんぷらす」によるこどもの意見の公聴、制度や政策への反映（支援につながりやすい周知の方法も含む）
- ・ 関係閣僚によるゲートキーパー研修の受講及び全国の首長に向けた受講呼びかけメッセージの作成 等



# ヒアリング内容

みなさんからお聞きしたい内容の例について

## 1 【実際に利用した支援策について】

- ・ご自身や友人、家族が死にたいという気持ちになった際、少しでも気持ちが楽になったきっかけはありますか？
- ・利用して効果が感じられた支援、相談窓口はありますか？
- ・支援策等を利用するに至ったきっかけはありますか？
- ・支援策等を利用して、どのように気持ちが変わりましたか？

など

## 2 【利用しなかった支援策について】


- ・自身が知っている、周りから勧められた支援策のうち、利用しなかったもの（したくなかったもの）はありますか？あるとすればその理由はどのようなものですか？  
また、今後どのような点が改善されれば利用したいと思えますか？
- ・自身が利用した、利用してみたいと思う支援策はありますか？  
また、利用したいと思うのはどのような理由ですか？

など

## 3 【その他こどもの自殺対策に関するご意見について】

- ・気持ちが落ち込んだとき、どのような場所や人がいれば支えになりますか？
- ・こども家庭庁がとりまとめた「こどもの自殺対策緊急プラン」について、共感できる点がありますか？追加すべき点があれば教えてください。

など



# ファシリテーター紹介

## ファシリテーター紹介

こどもまんなか  
こども家庭庁



おざわ

**小澤 いぶき**

児童精神科医です。  
NPO、児童相談所、大学、こども家庭庁などで働いています。  
妖怪（特に河童）や、海や、宇宙が大好きで、  
自分以外の人や生き物やものが、  
どんなふうの世界をみて感じているかに心が動きます。

**1 班担当**



やまぐち ありさ

**山口 有紗**

小児精神科医です。  
東京に住んでいます。  
  
児童相談所、子どもの研究所、  
こども家庭庁などで働いています。  
  
最近好きな色は青です。

**2 班担当**



かわせ しんいち

**川瀬 信一**

子どもや若い人の声を聴くことを仕事にしています。  
うどんが大好きです。うどんは飲みます。  
10月に父になる準備中です。  
みなさんの声に学ばせていただきたいです。  
よろしくお願いします！

**3 班担当**



# 質問のお時間